

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アプリ児童ディサービス都筑ふれあいの丘		
○保護者評価実施期間	2024年12月15日		～ 2025年1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	2024年12月15日		～ 2025年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・五領域に関連付けしたプログラムを毎月作成している。	・児童の特性に合わせた対応や、全員で参加できるような内容のもので組めるように工夫している	・発達段階に合わせ難易度別のプログラムを用意する。
2	・様々な年齢、特性のあるご利用者様に合わせた個別課題への取り組み	・個別絵カードやスケジュールボードなど、それぞれに合った意思表示ができるようになっている	・できそうなことは試してみて、本人に合ったやり方を探す。
3	・駅ちか、公園・地区センター・公共施設等が隣接		・地区センターや療育センターが近いので活用し地域交流の場も増やせるよう今後取り組んでいければと思う。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・療育の不足。自由度が高いゆえに児童にとって必要だが、児童がやりたくないことはできていない。	・身の回りの支援も小さなステップをつくり、最低限のところから行う。	・拘りがつよい児童に、新しい学びを短時間でも提供。
2	・ワンフロアであるため、不穏になった児童からの影響を受けやすい。	・面談室やベランダを代用しているが、室内でクールダウンスペースを確保するのが難しい	安全を考慮したパーテーションなどの設置を検討
3	・事業所でのご利用者様の活動や環境を保護者様が知る機会が少なくサービス提供記録や申し送りでは伝わりにくさもある	・発信ツールや機会が少ない	・保護者会や見学会などを設けて保護者に日々の様子を見ていただいたり、月ごとにお便りのようなものを配信して、様子を伝えたりする。